

市民の皆様へ

2030年の稲城に向けたご提案を受け付けています！

稲城市では2030年の稲城に向けて、長期総合計画を策定します。あなたの考える2030年の稲城の将来像について、ご提案ください。ご提案いただいた内容は、長期総合計画を策定する際、市民の皆様からのご意見として参考とさせていただきます。

ご提案はこちらから
https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form_enq/formmail.cgi?d=chouki



個別の返答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



参加者の横顔

須田さん

緑は豊富ですが不便もあります。子ども、孫とともに住めるようなまちにしたいと思っています。

隅田さん

大学入学を期に稲城に来ました。大学では地域創生を勉強しています。

田中さん

30年住んでいます。子どもたちがふるさととして誇れるようなまちへと思っています。

富永さん

農業をやっています。稲城市はまだ人口が増えています。人口減少時代のまちづくりを今から考えていきたいと思っています。

中倉さん

2歳になる女の子を育てています。働いているお母さん・お父さんへ稲城の魅力伝えて、わくわく楽しくなるようなまちへと思っています。

これからの開催予定

第5回 平成30年11月2日(金)
時間：19:00から
※概ね2時間程度を予定しています。
会場：地域振興プラザ4階 大会議室

- ・テーマ別討議Ⅱについて、グループに分かれ討議します。
- テーマ④ 仕事も生活も稲城で
- テーマ⑤ 誰もがずっと住んでいたいまち
- テーマ⑥ 緑



2030年の稲城を描く

発行 稲城市
編集 企画部 企画政策課 長期総合計画担当
〒206-8601 稲城市東長沼 2111
☎042-378-2111 (代表) 内線 532
e-mail chou_kei5@city.inagi.lg.jp

2030年の稲城を描く



第4回 市民会議を開催しました

10月12日、地域振興プラザにおいて「2030年の稲城を描く市民会議」第4回を開催しました。討議テーマの意見を出し合った第3回市民会議の結果を踏まえ、3つのテーマに分かれて、意見交換を行いました。

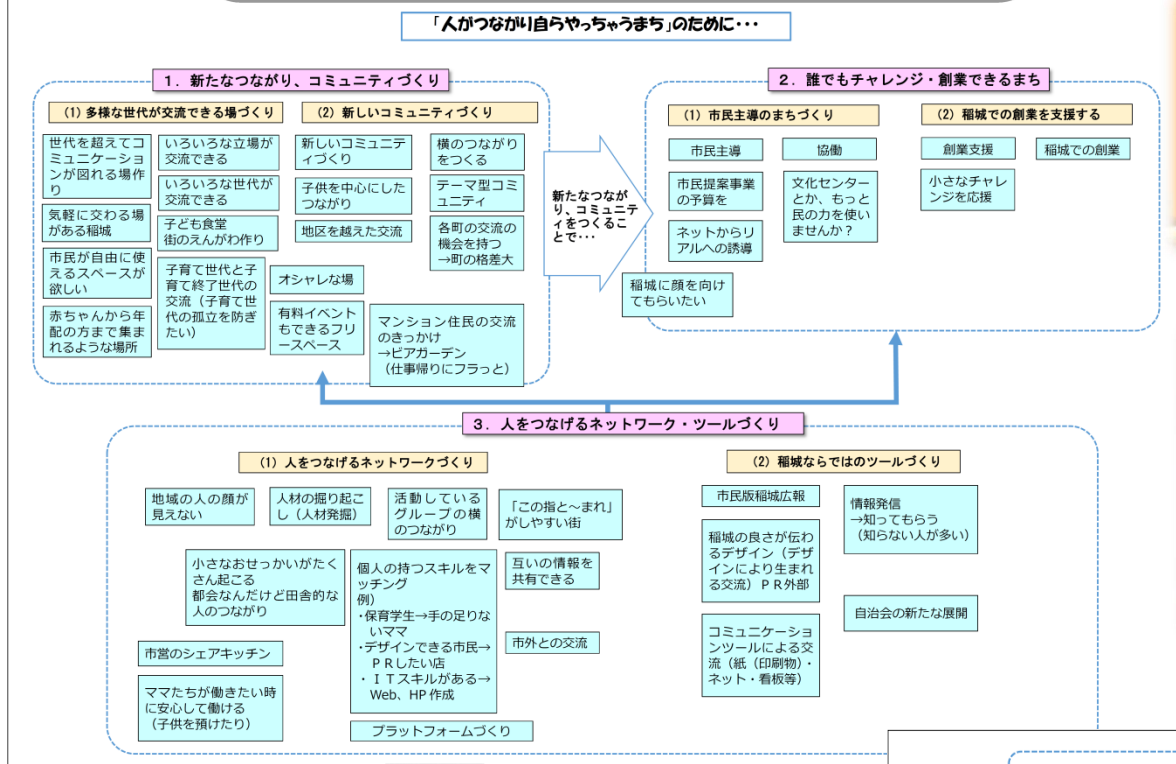
2030年の稲城を描く市民会議

3つのテーマに分かれて
意見交換



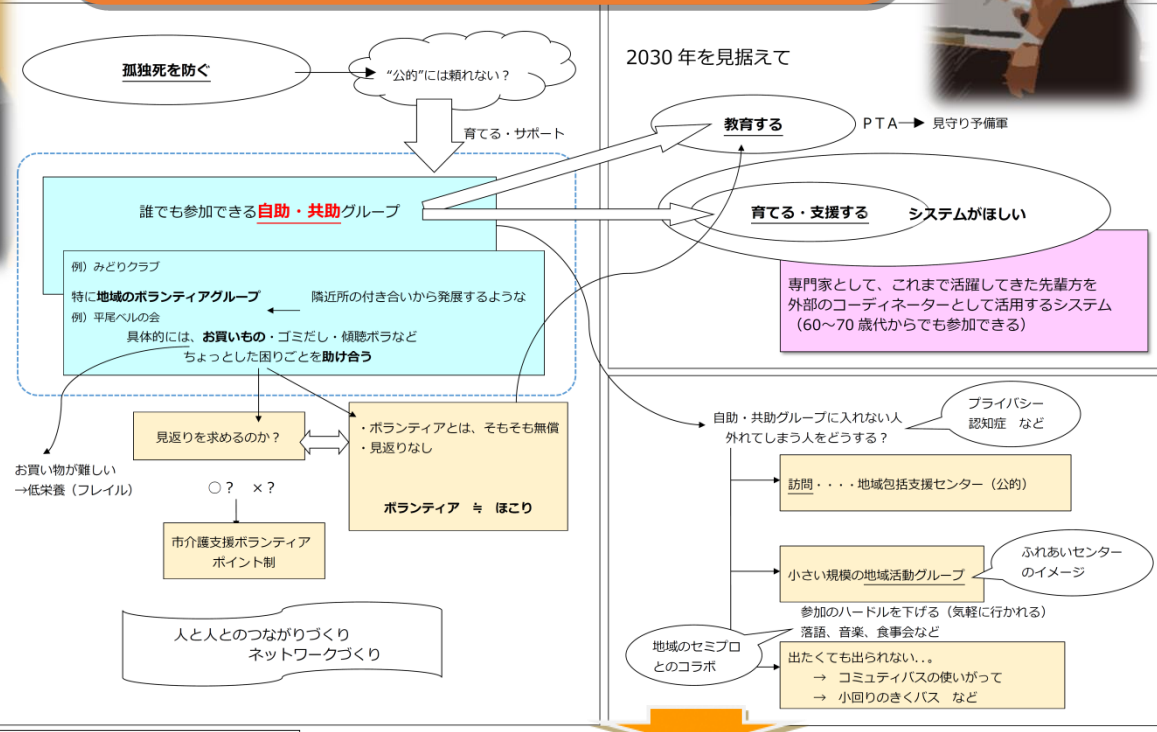
『テーマ別討議Ⅰ』について討議し、発表しました！

テーマ① 人がつながり自らやっちゃうまち



テーマ③ 梨

テーマ② 高齢者が生き生きと暮らせるまち



高齢者が生き生きと暮らせるまち～発表内容

○ちょっとした困りごと、買い物、ごみ出しなどを手伝える隣近所の小さなボランティアグループができれば。

○団体を運営してきた先輩方を専門家・コーディネーターとした、グループ育成・支援のシステムづくり。

○高齢と呼んで欲しくない方もそうなることを見越して、例えばPTAの中からグループにつなげていく教育。

○小さい地域グループ、地域での顔見知りの仲間でのグループで、色々な会、食事会、落語会などを開催して、誰もが気軽に参加できるように。

○参加できない方、閉じこもりの方等への訪問・サポートは地域包括支援センターで。

梨農家の支援

10月から4月の閉歇期にお金が回る仕組みをつくる

梨農家はこれからも続けていけるのか

公的支援のあり方

梨は8~9月だけ他の期間も「梨の稲城」をアピールできないか？

生産に関する現状の問題点

梨農家と野菜農家の収入差が大きい。ブランド化の成果？

梨園他の利用の仕方

販売、商品開発

販路拡大

なしの販売店のネットワークを生かしたサービス

関連する商品を開発

梨ジャム・梨ジュース以外の加工品の開発

駐車スペースのある梨直売所が少ないので、市民以外は買いに行きづらい

生産者の増加

梨園が減少している気がする(宅地に?)

生産者の若返り

一般市民も梨作りをしたい

なぜ、梨を生産するようになったのか(歴史、動機)

市民が親しめるように

人には稲城の梨を送り、他県の梨を食べている

スーパーに卸してないところがない人ぞ知る

他の生産地との差別化

なしのブランド化

ブランド化が進み、市民が買えない

ブランド化を守るために、クズ梨の処分が困っている(ワイン、菓子はやっている)

体験

モノだけでなく、コトをプラスした体験の中に梨をからめる

学校で梨の収穫体験や稲城の梨について知る機会をつくる

稲城のPR

目標 全国的に有名にする

比較 農産物で思い浮かべるまちは？

稲城といえば梨

梨をいえる稲城

外国人も知っている稲城の梨

梨が稲城に集う、つなぎ役

PRの手段

なしのまちグループ

なしの日

・のりもの

・衣装

・割り引き

・テーマソング

なしtube

・食べ方

・育て方 etc.

稲城なしのすけ + 商品(おかしなど)

梨の美容効果にポイントを置いた、地域ビューティプログラム

広報

・ホテル

・レストラン

・お店

・デザイナー

市外の人にもっと稲城の梨を知ってもらえる機会をつくる

(読売ランドでの販売や梨を使ったメニューをつくる)

なし+アート

・梨園 google map

・なしそのもの

稲城なしのすけがふなっしーとかぶる…

認知度の向上

梨の認知度が市民によってまちまち

稲城市民は本当に梨が好きなのか？

市民はみんな梨が好き！

なし好きの稲城市民だからこそ○○○○

市民の梨への意識向上

梨～発表内容

○稲城の梨は、市民の口にあまり入らずに、農家の人も作っただけ売れるので、あまり問題になっていない一方で、後継者がいなくて梨畑が減っている現状。

○梨を作っている地域では小学校で受粉の活動をしたりする一方で、新しい地域では活動も少なく、もう少し市民全体が梨と接する、梨に愛着を持てるような活動や仕組みがあったら。

○生産量は全国での上位に行けないが、梨の稲城、稲城の梨というイメージをもっとアップさせていけば良いという思いは共通。

○稲城なしのすけの活用や、梨の日をつくったらどうだろう、もっと梨を使った活動をしたらどうか。

○梨をもっと使った商品、ジャムや他の食品だとか、あるいは関連グッズを開発して売ったらどうか。

人がつながり自らやっちゃうまち～発表内容

○テーマ型コミュニティとか地域型コミュニティなど、新たな型のコミュニティづくり。

○市民主導の形をとるとか、市民提案事業の予算をなんとか市から獲りたいなど、チャレンジ・創業できるまち。

○行政主導でやるのではなく、市民が集まってきて、新たなコミュニティが広がっていくことが大事。

○市外との交流、市内10地区が横の交流をしながら情報交換をしていくネットワークづくり。

○ツールとしては交流看板、ネット。自治会にもっと若い人が入っていくような新たな展開も必要。

